

教育厚生

三浦小体育館 耐震補強工事を開始



教育厚生常任委員長
宮地 葉子

基分の予算23万2千円です。町としても浄化槽の推進に力を入れ、希望者全員が補助を受けられるように力を尽くしていますが、時期を外すと難しい場合もあるそうです。

★三浦小学校体育館耐震補強工事

三浦小学校の体育館の耐震補強をするため、2483万円の予算が計上されました。H24年8月末に終了予定です。

指定管理者の指定

★蜷川小学校の跡を利用した介護拠点施設の管理者を指定する議案が出されました。

この施設は健康相談やガン検診などにも使われていますが、主に喫茶を開いて、一人

★合併浄化槽設置の補助金

合併浄化槽の新たな設置1

★子宮頸がん・予防接種委託

昨年無料で受けられた予防接種でしたが、ワクチン不足となり、不足分と新たに補助対象となった分の予算466万円が計上されました。昨年の摂取率は36.9%で、ワクチン不足もありましたが、啓発も大事ではないかとの意見が出されました。

暮らしの方や地域の方の気兼ねな施設として利用されています。年間利用者は約1000人程です。指定管理者は公募によらないものです。

《視察研修》 障害者・福祉施設 等を視察研修

教育厚生常任委員会では福祉施設を中心に視察研修に行きました。

最初にH23年度改築工事が完成した田野浦の「生華園」に行き、新しくなった個室など施設内を、後で一階のグアバジューズの作業場などを視察し、最後にジューズの味見をさせて頂きました。委員会として、グアバジューズが学校給食に出せないか、教育長に相談したところです。

次に小川にある誠心園を訪問。園長さんから、「知的障害者は、自分たちの境遇を政治の場などへ言葉で訴えることが出来ない。もっと実情を

知って欲しい」とのお話を聞きました。

その後、佐賀へ行き「あつたかふれあいセンター」の取り組みを見せて頂き、続いて拳の川診療所と、隣接している保健センターを視察。ここには様々な健康器具やリハビリ室等も揃えられており、佐賀地域がいかに病気予防に力を入れ、先進的な取り組みをしていたのを知りました。

施設にはそれぞれ町の予算も入っていますが、なかなか知る機会も無く、今回の視察が今後に生かせればと思います。



生華園で作業場の説明を受ける



誠心園内の説明を受けながら視察する



あつたかふれあいセンターを訪問する